

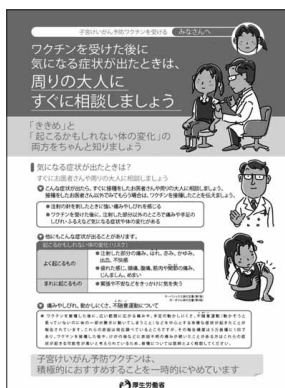
広島県地域医療構想について

国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 院長 中井 志郎

日本の高齢化社会における、医療組織機構として、現在、超急性期、急性期、回復期リハの医療と介護、福祉に連なるネットワーク化が必要と考えられています。平成26年9月より、病院、有床診療所は、病床機能報告制度がスタートし各病院の病床の診療データが集められ、分析され、その地域における、地域医療構想ビジョンによって、地域包括ケアシステムが作られようとしています。これらのシステムを有機的に機能させるためには、集めて、分析したデータを公開する必要があります。その事によってその地域に合った、疾病別連携を作成することが、効率的で質の高い医療につながります。そして医療者も、国民も、各疾病に対してのシェアの状態が理解することができます。

勤務医が、病院で働く上で、一つの病院が患者を集める時代は過ぎました。疾病別に連携した専門集団が、お互いにシェアする事で、勤務医の過重労働が回避され、ストレスの解消に連なると考えます。DPC病院のⅠ群特定機能病院（大学病院）Ⅱ群病院は、外来医療を完全予約制とし、病床数の1.5倍までの患者数までしか、診療しない形式にすべきです。Ⅲ群の病院は、Ⅰ群Ⅱ群の病院から後方病院としての機能を発揮することで、その機能を有効に活用することができると考えます。そのためには行政と県医師会、市医師会、広島県病院協会が協議の上広島県の地域医療構想を作るべきと考えます。

ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に関するリーフレット



下記リーフレットの作成について、厚生労働省健康局結核感染症課より、平成26年7月18日付文書にて事務連絡がありました（10月1日より、接種した医師等以外の医師等による診察を受ける場合においては、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種を受けたかどうかを伝えていただくよう記載の追加が行われております）。

①及び②は、かかりつけ医療機関で当該定期接種を受けられる方及びその保護者の方において、当該定期接種について、接種前に改めて御理解いただくことを目的としております。

また③は当該定期接種を行う医療従事者において、接種に当たっての注意事項を御理解いただくことを目的としております。

いずれもホームページ掲載されておりますので、お手数ですが、下記参考URLよりダウンロードしてご活用下さい。

- ① 被接種者向けリーフレット ② 保護者向けリーフレット ③ 医療従事者向けリーフレット

【参考URL】 厚生労働省予防接種情報ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-kansenshou/yobou-sesshu/index.html

広島県医師会地域医療課